

防虫・保温・防寒・防霜・防風・防雪・遮光・防鳥・防獣

家庭菜園成功のヒケツ

ほんとにスゴイ「ネットのちから」

農家では昔から当たり前のように使われてきた菜園ネットには、家庭菜園でも役立つメリットがたくさんあります。

「ネットはお得！」

「家庭菜園で、みんなが一番悩む“害虫”に、偉大な力を発揮するのが菜園ネットです」と力説する藤田先生。タネまきや苗の植え付けをしてすぐに“その場でネット”をかけてしまえば、害虫の寄り付く隙がなく、虫食い葉っぱになる率も少ないというわけです。さらにネットには「害虫を防ぐだけでなく、これから寒くなる季節に保温の役目も果たし、霜や風、雪などからも野菜を守ってくれます」。これなら初心者こそ使わない手はありませんね。

	<p>「防虫ネット」で</p> <p>たとえば キャベツ 害虫対策は</p> <p>キャベツは消化器官の濃瘍に効果のあるビタミンUを独自成分として含み、ビタミンCも豊富にある野菜として、冬には欠かせない常備野菜。害虫対策には、「防虫ネット」のトンネル栽培が適しています。通気に配慮しながら害虫を防ぐ正確な網目は、日本製ならではの高品質。網目の種類もそろっています。</p>	
	<p>「寒冷紗」で</p> <p>たとえば イチゴ 遮光・防虫は</p> <p>秋・冬にかけてのイチゴ栽培には、寒冷紗のトンネル栽培がおすすです。イチゴは、秋から冬にかけて活動を停止し、寒さから身を守ります。この時期の低温短日が花芽をつくり翌年の初夏に実を結びます。そのため8月から9月頃は高温に注意しながら「黒の寒冷紗」で遮光して低温を保ち、それ以外の季節は「白の寒冷紗」で過度の乾燥や病害虫から守ります。</p>	
	<p>「不織布」で</p> <p>たとえば ホウレンソウ 保温・防虫は</p> <p>鉄、カルシウム、カロテンなどを含み、栄養価の高い緑黄色野菜・ホウレンソウは、春まきも夏まきもできますが、やっぱり冬が旬の野菜です。ホウレンソウには「不織布」のベタがけ栽培が適しています。ベタがけは、ふわりとかけるのがコツ。かけた後、周囲を土に埋めておきましょう。防霜保温効果で発芽がそろえばかりでなく、害虫や鳥害も防ぎます。</p>	